

試験研究成果普及情報

部門	稲	対象	普及
課題名：栽培しやすく餅の味が良い水稲もち新品種「千葉糯 23 号」			
[要約]「ココノエモチ」を母、「白山もち」を父として交配し、育成した「千葉糯 23 号」は、熟期が中晩生で、耐倒伏性、耐冷性、いもち病抵抗性等の、栽培特性に優れる。また、玄米は大粒で外観品質が良好、餅の色や食味も良好である。			
リーキーワード 水稲もち、千葉糯 23 号、早期栽培、中晩生、良食味			
実施機関名	主 査 農業総合研究センター・育種研究所・水稲育種研究室 協力機関 農業総合研究センター・生産技術部・水田作研究室、育種研究所・成東育成地		
実施期間	1994年度～2007年度		

[目的及び背景]

千葉県における水稲もちの奨励品種は、早生の「ヒメノモチ」と晩生の「ツキミモチ」であるが、「ヒメノモチ」は穂発芽しやすく、「ツキミモチ」は倒伏しやすいという栽培上の欠点があり、品質低下の要因になっている。また、「ツキミモチ」は穂揃いが悪いため、採種栽培において、異型株の判別が難しいという欠点もある。

そこで、耐倒伏性に優れ、穂発芽しにくく、餅の食味も良好な水稲もち新品種を育成する。

[成果内容]

- 1 「ココノエモチ」を母、「白山もち」を父として「千葉糯 23 号」を育成した。
- 2 「千葉糯 23 号」の特性は以下のとおりである（表 1、2）。
 - （1）成熟期は「ツキミモチ」に比べて 4 日早い、中晩生。
 - （2）現在の奨励品種と比べて、短稈で倒伏しにくい。
 - （3）耐冷性、いもち病抵抗性が強く、穂発芽性が「やや難」である。
 - （4）玄米千粒重が大きく、玄米外観品質が良好である。
 - （5）餅はのびがよく、こしがあって、良食味である。
- 3 原料米と加工品についての生産者の評価も高い（表 3）。

[留意事項]

- 1 「千葉糯 23 号」は、籾のふ先が褐色で、ふ先が黄白色のうるち品種と識別しやすい。
- 2 栽培法については、平成 20 年度試験研究成果発表会資料「品質重視！『千葉糯 23 号』の好適な生育と栽培法」を参照のこと。

[普及対象地域] 県下全域

[行政上の措置]

[普及状況]

[成果の概要]

表 1 「千葉糯23号」の生育特性

品種・ 系統名	成熟期 (月/日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	耐倒 伏性	耐冷 性	穂発 芽性	いもち病抵抗性	
								葉	穂
千葉糯23号	9/06	74	20.0	408	強	極強	やや難	極強	強
(比較)ツキミモチ	9/10	87	20.5	414	弱	弱	やや難	強	中
(参考)ヒメノモチ	8/27	81	19.0	381	やや強	中	やや易	強	強

注 1) 4月25日移植、標準施肥(水稻育種研究室平成15~17年)

2) 耐倒伏性、耐冷性、穂発芽性、いもち病抵抗性は極弱~極強の7段階

3) 「ヒメノモチ」の障害、病害抵抗性は奨励品種特性表による

表 2 「千葉糯23号」の収量と餅質

品種・系統名	収量 (kg/10a)	同左 比(%)	玄米千粒 重(g)	玄米外 観品質	餅色	餅の食味		
						のび	こし	味
千葉糯23号	600	104	23.5	3.3	白	良	良	良
(比較)ツキミモチ	578	100	20.8	4.3	やや灰	良	やや良	良
(参考)ヒメノモチ	560	97	22.2	3.7	白	良	良	良

注 1) 4月25日移植、標準施肥(水稻育種研究室平成15~17年)

2) 玄米外観品質は1(上・上)~9(下・下)、餅の食味は良~不良の5段階

表 3 「千葉糯23号」の原料米と加工品についての生産者の評価

評価の 対象	回答 数	普段扱っている糯品種と比較して			評価された点
		優る	同等	劣る	
玄米	5	2人	2人	1人	} 大粒、精米が白い
精米	6	6	0	0	
のしもち	5	2	3	0	色、味、こし、舌触りの良さ
赤飯	5	2	3	0	見栄えの良さ
かきもち	4	2	2	0	味の良さ
煎餅	1	0	1	0	

注 1) 平成19年度新品種開発スピードアップ事業による

2) 回答者は6人

[発表及び関連文献]

平成20年度試験研究成果発表会(作物部門)

[その他]